

鍋林建工株式会社

環境経営レポート

(対象期間:2021年4月1日～2022年3月31日)



2021年度版

2022年7月1日発行
鍋林建工株式会社
代表取締役社長 倉科 明

目 次

項目		頁
1	事業活動の概要 (1)事業者名及び代表者名 (2)所在地 (3)環境管理責任者及び担当者、連絡先 (4)事業内容 (5)事業の規模 (6)EA21対象範囲 (7)実施体制図	1
2	環境経営方針	2
3	アクセス	3
4	主な環境負荷の実績	4
5	環境経営目標 *単年度及び中・長期の目標	5
6	環境経営計画 *環境経営計画と主な取組	6
7	環境活動の取組結果と評価 (1)環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標 (2)環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画 (3)環境管理責任者の評価 (4)代表者の評価	7 8 9 9
8	環境関連法規制と遵守状況	9

1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 倉科 明 設立 昭和53年4月5日

(2) 所在地

(本社・松本営業所)

(長野営業所)

〒390-0851 長野県松本市大字島内3501-1 〒380-0913 長野県長野市川合新田字村西956-1

(新潟営業所)

〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山2-19-12

(3) 環境管理責任者及び担当者、連絡先

環境管理責任者： 取締役総務部長 百瀬 登

事務局： 横内 秀明

長野営業所： 所長 鈴木 雄一

新潟営業所： 泉田 まりな

本社・松本営業所連絡先 電話:0263-48-3501 ファックス:0263-48-3502

長野営業所連絡先 電話:026-221-0232 ファックス:026-221-5045

新潟営業所連絡先 電話:025-286-1841 ファックス:025-286-1842

(4) 事業内容

建設業

(一般住宅設計施工、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事)

(5) 事業の規模

資本金 2,000万円

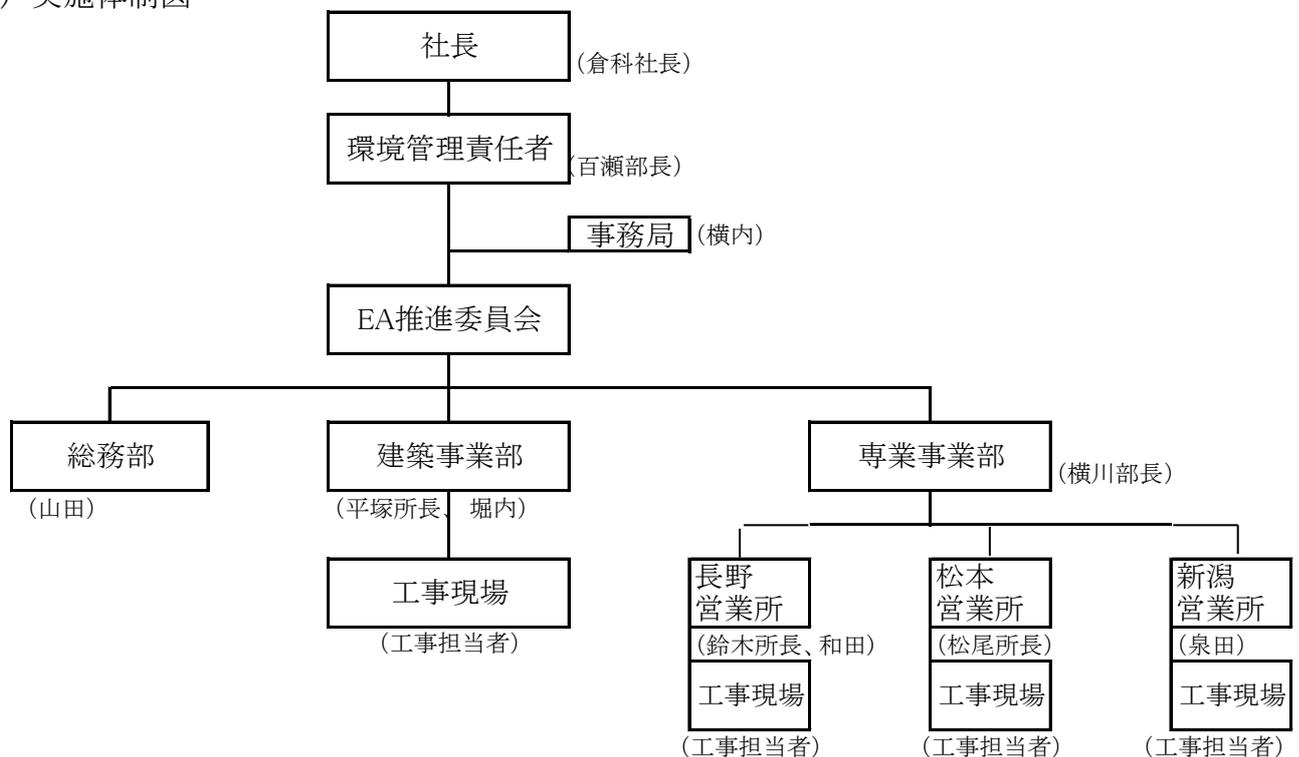
従業員 28名

延べ床面積 1,566 m²

(本社:事務所725m² 倉庫297m² 長野:事務所111m² 倉庫223m² 新潟:事務所89m² 倉庫121m²)

(6) EA21対象範囲 本社・松本営業所、長野営業所、新潟営業所、建設現場

(7) 実施体制図



2.

環境経営方針

鍋林建工株式会社は事業活動及び製品・サービスを通じて、地域環境の保全、自然との調和と共生を実現する為に、下記の通り事業活動における環境負荷低減を常に意識し、継続的維持可能な循環型社会に組織が自主的かつ積極的に取り組みます。

行動指針

1. 環境マネジメントを理解し、PDCAサイクルにより継続的改善をしていく。
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 環境負荷軽減をしていく。

①二酸化炭素排出量の削減

②化学物質の低減とグリーン調達の推進

③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進

④省エネでエコな建築工法の推進

環境経営方針と行動指針を全社員に周知し実施する。

我々のこの取り組みが利害関係者へ波及していくことを願っている。

令和2年4月1日

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 倉科 明

3. アクセス

本社アクセスマップ

本社【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒390-0851
長野県松本市大字島内3501-1

- ▶ TEL： 0263-48-3501 (代)

- ▶ FAX： 0263-48-3502

長野営業所アクセスマップ

長野営業所【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒380-0913
長野県長野市川合新田字村西956-1

- ▶ TEL： 026-221-0232

- ▶ FAX： 026-221-5045

新潟営業所アクセスマップ

新潟営業所【専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒950-0923
新潟県新潟市姥ヶ山2-19-12

- ▶ TEL： 025-286-1841

- ▶ FAX： 025-286-1842

4. 主な環境負荷の実績

項目		単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績
二酸化炭素排出量		kg-CO2/年	115,277	118,311	114,753
	電力	kwh/年	33,161	41,813	34,437
	ガソリン	l/年	36,074	36,595	36,748
	灯油	l/年	6,137	5,592	5,716
廃棄物排出量		t/年	102.0	113.8	113.9
水使用量		m ³ /年	253	250	252
省エネ関連工事の受注		件数/年	9	10	17
OA紙使用量		枚数/年	221,500	212,500	174,000
グリーン購入 水溶性塗料		セット/年	19	6	15
地域活動		周辺清掃回数/年	15	13	15

注：事業年度＝4月～3月

事務所、現場等当社が関係し、集計可能なデータをすべて引用しました。

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数：中部電力0.424kg-CO2/kwh 東北電力0.521kg-CO2/kwh

令和2年度実績(R4.1.7環境省・経済産業省公表)

5. 環境経営目標

*単年度及び中・長期の目標

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2030年度
		年度目標	年度目標	年度目標	年度目標	年度目標 (2019年から15.3%削減)
二酸化炭素 排出量	kg-CO2 /年	106,207	104,762	103,337	101,931	92,456
電力	kwh/年	32,259	31,820	31,387	30,960	
ガソリン	ℓ/年	35,099	34,621	34,150	33,685	
灯油	ℓ/年	3,865	3,812	3,760	3,708	
廃棄物排出量	トン/年	98.0	96.0	94.0	92.0	
水使用量	m ³ /年	245	241	237	233	
省エネ関連工事	件数/年	(対前年1件増加) 11	(対前年1件増加) 18	(対前年1件増加) 19	(対前年1件増加) 20	
OA紙使用量	枚数/年	215,000	212,000	209,000	206,000	
グリーン購入 (水溶性塗料)	購入数 セット/年	(対前年1件増加) 7	(対前年1件増加) 16	(対前年1件増加) 17	(対前年1件増加) 18	
地域活動	周辺清掃 回数/年	14	18	19	20	

* 2030年度目標は、長野県SDGs推進企業登録目標のため、CO2削減目標のみ表示します。

* 目標は、基準を統一するため、事務所の数値とします。

* 2022年度以降の対前年増加目標値は、2021年実績に基づいています。

6. 環境経営計画

*環境経営計画と主な取組

項目		2021年度活動計画	主な取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定(事務所:冷房 28℃、暖房 20℃、現場事務所:冷房 26℃、暖房 20℃) ・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF ・昼休みの60分間消灯 ・未使用換気扇電源OFF 	こまめな温度管理 啓蒙活動 継続実施 //
	ガソリン使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ(エコドライブ10の実施) ・積載オーバー、不要な荷物は積まない ・月報距離、給油量を記録する 	再徹底を行う 責任者による定期点検 点検時実施
	灯油使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房温度管理 20℃ ・時間外事務所使用の短縮 	エアコンとの効率的併用 時間外使用を抑える
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼 ・分別徹底とリサイクル(特に古紙、缶ビン) 	分別強化、特に塗料の廃棄時の扱い徹底強化 担当者が関連作業員へ指導強化 再生紙排出量を増やす
	一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導 ・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・社内文書の電子化 	分別強化 社内資料の削減 文書管理方法の検討
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の出し過ぎない、止水確認 ・洗い物はまとめて洗う 	社員の意識づけ強化 //
グリーン商品の購入推進		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品を優先して使用する ・従業員に周知する 	グリーン材料工事の提案 責任者を決める
OA紙使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底 ・会議のPJ利用、電子媒体の利用 	啓蒙活動 会議方法の提案
省エネ関連工事の受注		<ul style="list-style-type: none"> ・エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動 ・グループ会社の会報を通じてPRする 	多方面の省エネ提案 会報の利用継続
地域活動		<ul style="list-style-type: none"> ・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃 	独自の活動を模索する

7. 環境活動の取組結果と評価

(1)環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標

取組項目	2021年度目標	2021年度実績	達成率	評価	2022年度目標
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2/年)	106,207	111,513	95.0%	△	2021年目標1.36%削減 104,762
電力使用量削減 (kwh/年)	32,259	31,018	103.8%	○	2021年目標1.36%削減 31,820
ガソリン使用量削減 (ℓ/年)	35,099	36,748	95.3%	△	2021年目標1.36%削減 34,621
灯油使用量削減 (ℓ/年)	3,865	5,045	69.5%	×	2021年目標1.36%削減 3,812
廃棄物排出量削減 (t/年)	98.0	78.7	119.7%	◎	2021年目標1.36%削減 96.0
水使用量の削減 (m3/年)	245	252	97.1%	△	2021年目標1.36%削減 241
OA紙使用量削減 (枚数/年)	215,000	174,000	119.1%	◎	2021年目標1.36%削減 212,000
省エネ関連工事の受注 (件数/年)	11	17	154.5%	◎	対前年+1件 18
グリーン購入(水性塗料) ケラートEP、AU(水溶性) 購入セット(セット数/年)	7	15	214.3%	◎	対前年+1件 16
地域活動					
事業所周辺の定期清掃 (回数/年)	14	15	107.1%	○	18

評価:110%以上◎、100%以上○、95%以上△、95%未満×

目標、実績は、事務所のみ集計しているため、4頁(4. 主な環境負荷の実績)の数値とは異なります。

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数:中部電力0.424kg-CO2/kwh 東北電力0.521kg-CO2/kwh

令和2年度実績(R4.1.7環境省・経済産業省公表)

(2)環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

項目		活動計画の内容	実績・取組結果	評価	次年度の活動計画
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・エアコンの温度設定(事務所:冷房28℃、暖房20℃、現場事務所:冷房26℃、暖房20℃)	熱中症、労働環境に注意しながら実施	○	・エアコンの温度設定(事務所:冷房28℃暖房20℃、現場事務所:冷房26℃暖房20℃)
		・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	退社時のPC電源OFF	○	・エアコンの使用時期、時間の短縮
		・昼休みの60分間消灯	毎日実施	○	・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF
		・未使用換気扇電源OFF	毎日実施	○	・昼休みの60分間消灯
	ガソリン使用量削減	・アイドリングストップ(エコドライブ10の実施)	啓蒙のみ	△	・アイドリングストップ(エコドライブ10の実施)
		・積載オーバー、不要な荷物は積まない	啓蒙のみ	△	・積載オーバー、不要な荷物は積まない
		・月報距離、給油量を記録する	毎月実施	○	・月報距離、給油量を記録する
	灯油使用量削減	・暖房温度管理 20℃	エアコンとの併用	○	・暖房温度管理 20℃
		・時間外事務所使用の短縮	使用時間短縮	△	・時間外事務所使用の短縮
	廃棄物排出量削減	産業廃棄物	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	分別強化、塗料の廃棄時の扱い徹底	○
・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼			担当者が関連作業員へ指導	△	・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼
・分別徹底とリサイクル(特に古紙、缶ビン)			段ボール、OA用紙リサイクル実施	△	・金属類のリサイクル、容器リユース
一般廃棄物		・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導	周知不足	△	・紙類の分別を強化し、リサイクルを増加させる
		・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	会議資料削減	○	・コピー枚数の削減
		・社内文書の電子化	共有サーバーを強化	○	・社内文書の電子化
水使用量の削減	・水道水の出し過ぎない、止水確認	毎日実施	○	・水道水を出し過ぎない、止水確認	
	・洗い物はまとめて洗う	都度実施	○	・水道水を無駄に使用しない	
グリーン商品の購入推進	・グリーン商品を優先して使用する	会議で確認	○	・グリーン商品を優先して使用する	
	・従業員に周知する	会議で確認	○	・従業員に周知する	
OA紙使用量削減	・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底	裏面印刷増加	○	・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	
	・会議のPJ利用、電子媒体の利用	一部実施	△	・会議のPJ利用、電子媒体の利用	
省エネ関連工事の受注	・エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動	多方面の省エネ提案	○	・省資源設備への切り替えの提案	
	・グループ会社の会報を通じてPRする	会報かたばみ掲載	○	・グループ会社の会報を通じてPRする	
地域活動	・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	計画実施	○	・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	
		外部団体活動参加	○	・上記以外の活動の実施	

(3)環境管理責任者の評価

事務所環境活動に関して目標達成状況をみると、電力、廃棄物、OA紙使用料の削減、省エネ関連工事実績、グリーン購入の実績が増え目標を達成できた。

しかし灯油の使用料が大幅に増加してしまったことが残念である。

灯油使用実績を含めて未達となった項目の未達要因をしっかりと分析して、次年度以降に目標達成実現の道筋をつけていきたい。

2022年7月1日

百瀬 登

(4)代表者の評価

昨年の課題であった全社の二酸化炭素排出量を2019年度実績以下に抑えられたことは喜ばしい。

エネルギー使用量削減は大きな命題であるが、事業拡大に伴う使用料増加はやむを得ない。

日々の事業活動を通して、環境負荷実績と会社の業績が連動し相関関係を持っていることも資料から読み解きながら、これからもエコアクション21の推進が業績アップに繋がるように進めていって欲しい。

2022年6月24日

倉科 明

8. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
資源有効利用促進法	分別排出、再生資源化に協力	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の日常点検、整備記録簿	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
労働安全衛生法	安全衛生計画を作成、実施する	遵守
毒物及び劇物取扱法	少量劇物の貯蔵と取扱	遵守
フロン排出抑制法	フロン漏えい点検	遵守

(2)違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。